

Photo

島根半島の海岸に生息する甲虫類 (7) ツヤウミベハネカクシ

林 成 多

ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5

ツヤウミベハネカクシ *Philonthus nudus* Sharp は, 体長 8.5-10.2 mm ほどのハネカクシ科に属する海岸性甲虫で, 国内では北海道から九州まで広く分布している (柴田, 1985, 1993). 島根半島の海岸では, 春期に日本海に面した砂浜で確認されている (河上・林, 2007).



写真 砂の上を歩くツヤウミベハネカクシ

2006 年 3 月 25 日 15 時 24 分, 松江市鹿島町古浦の海岸にて撮影。砂浜に漂着した海藻の下から掘り出した個体。写真の右側にある小型のハネカクシは, 海岸性のウシオヒメハネカクシ *Adota ushio* (Sawada) で, ツヤウミベハネカクシと同様に砂浜に生息している。

[文献] 河上康子・林 成多 (2007) 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究 (2) 島根半島。ホシザキグリーン財団研究報告, (10). 印刷中。

柴田泰利 (1985) ハネカクシ亜科。上野俊一ほか編「原色日本甲虫図鑑 II」: 290-310, pl. 51-54. 保育社。

柴田泰利 (1993) 海浜のハネカクシ。昆虫と自然, 28(11): 23-27.